

CITY OF YOKOHAMA

脱炭素・GREEN×EXPO推進・
みどり環境・資源循環委員会
令和 7 年 1 2 月 1 1 日
脱炭素・GREEN×EXPO推進局

GREEN×EXPO 2027 の開催に向けた 取組状況について



横浜市

項目

- 1 機運醸成等の取組について
- 2 入場券価格等について
- 3 交通円滑化の取組について

項目

- 1 機運醸成等の取組について
- 2 入場券価格等について
- 3 交通円滑化の取組について

1 (1) 大阪・関西万博との連携による機運醸成の取組

大阪・関西万博の盛り上がりと感動をGREEN×EXPO 2027に引き継ぐため、横浜・大阪両市長による「ホストシティ バトンタッチセレモニー」を、万博最終日の10月13日に、会場にて実施しました。

イベント名 次の万博は横浜！ ～GREEN×EXPO 2027 From EXPO 2025～

実施日 令和7年10月13日（月・祝）

会場 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ

登壇者

- ・山中竹春 横浜市長
- ・横山英幸 大阪市長
- ・公式マスコットキャラクター「トゥンクトゥンク」

内容

- ・登壇者挨拶（山中市長、横山市長）
- ・フラワーリース贈呈



横山・大阪市長（左）から山中・横浜市長へ
フラワーリースでバトンタッチ

1 (2) 開幕500日前を契機とした機運醸成の取組

ア 開幕500日前発表会

開幕500日前となる11月4日に、企業・団体の皆様をお招きし、発表会を開催しました。
発表会では、企業の皆様と一緒に形づくるGREEN×EXPOの取組イメージや、横浜市出展に関する最新動向を紹介しました。

イベント名 次の万博は横浜！ GREEN×EXPO 2027 開幕500日前発表会

実施日 令和7年11月4日(火)

会場 横浜市役所アトリウム

参加者数 176名



参加した企業・団体の皆様



トゥンクトゥンクと記念撮影

1 (2) 開幕500日前を契機とした機運醸成の取組

イ 「ユース世代と考える 地球と共に生きる身近なアクション」シンポジウム

ユース世代と行政、企業など多様な主体が対話を通じ、一人ひとりの身近なアクションが未来を動かす力になることを実感する機会として、シンポジウムを開催しました。

パネルディスカッションには、市内大学生3名にもご参加いただき、ユース世代の活動紹介や、GREEN×EXPOへの期待などについてお話しいただきました。

イベント名 「ユース世代と考える 地球と共に生きる身近なアクション」シンポジウム

実施日 令和7年11月19日(水)

会場 関東学院大学 横浜・関内キャンパス テンネー記念ホール

参加者数 318名



市長挨拶



GREEN×EXPO 2027の紹介



基調講演



パネルディスカッション

1 (3) 広報・プロモーションの取組

開幕500日前を迎えるにあたり、集中的な広報・プロモーションを実施しました。

ア 横浜市営地下鉄 特別仕様ラッピングトレイン

ブルーライン、グリーンラインにおいて、GREEN×EXPO初となるフルラッピングトレインの運行を開始しました。門出を華やかに演出するため、あざみ野駅で出発式を行いました。

<運行期間>

ブルーライン（内装・外装）：令和7年10月28日（火）から会期終了まで（予定）

グリーンライン（外装）：令和7年11月7日（金）から会期終了まで（予定）



市営地下鉄ブルーライン(外装)



市営地下鉄ブルーライン(内装)



出発式の様子

1 (3) 広報・プロモーションの取組

イ シティドレッシング

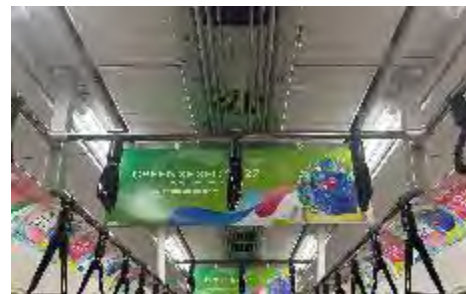
市内の乗降客数が多い駅や公共空間等での新たなデザインによる階段・柱広告や、アドトレイン（車内広告）、ラッピングバスの運行など、交通各社との連携による取組を集中的に展開しました。



馬車道駅



新横浜駅



京浜東北線アドトレイン



相鉄ラッピングバス



相鉄線全駅ポスター



相鉄線特別仕様駅名標

1 (3) 広報・プロモーションの取組

ウ 行政ツールを活用したプロモーション

■ 特別仕様ナンバープレートの公用車への取付

- ・年度末までに約1,000台取付予定

【参考】全体の申込件数： 14,411台（10月31日時点）

■ 特別仕様マイナンバーカードケースの配布

- ・配布期間：令和7年11月4日から会期終了まで
- ・対象者：マイナンバーカードを受け取られる方 等

■ 原動機付自転車用の特別仕様ナンバープレートの交付

- ・交付期間：令和8年1月20日から会期終了まで
- ・対象車種：原動機付自転車50cc、90cc、125cc、ミニカー



特別仕様ナンバープレート



特別仕様マイナンバーカードケース



原動機付自転車特別仕様ナンバープレート

1 (3) 広報・プロモーションの取組

エ 中学校給食における特別給食

開幕500日前となる11月4日に、市内中学生にGREEN×EXPOのワクワク感を体験していただけるよう、色とりどりの花が咲き誇る会場の様子やマスコットキャラクターのトゥンクトゥンクをイメージした特別給食を実施しました。

地産地消と食品ロス削減を学ぶメニューとして、みつ症※で販売困難な浜なしを活用した「よこはまReゼリー」を提供しました。

※「みつ症」：成熟により果肉が水浸状になる生理障害。
シャキシャキ感が失われ、商品にしにくい。



白菜の煮びたし〜ハートを添えて〜
旬の白菜やにんじん、油揚げを使った、
かつお節の風味豊かな煮びたし。ハート
のかまぼこが添えられています。

よこはまReゼリー
(横浜産のなし使用)
横浜市内果樹生産者の統一ブランド
「浜なし」を使用したゼリーです。

肉団子のカラフルてりやきソース
肉団子と赤や黄のパプリカを散り
ばめ、色とりどりの花が咲き誇る
様子をイメージしています。



1 (4) ボランティア募集




GREEN×EXPOを共に盛り上げ、支えていただくパートナーとして、ボランティアを募集します。あらゆる機会を捉え、広く周知していきます。



① EXPO全体

来場者に花壇の見どころを紹介する「花・緑ガイドボランティア」のほか、会場内外での案内、花壇の管理など、EXPO全体の運営をサポートし、来場者をおもてなしするボランティアを順次募集します。

② 横浜市出展エリア

公園愛護会など環境活動団体をはじめとした、市民の皆さまと共につくる「横浜市民活動フィールド」において、ツアーガイドやプログラムの運営補助などを行うボランティアを今後募集予定です。

令和7年11月17日 募集開始（募集中）	
	花・緑ガイドボランティア（約200人） 会場内の花壇の見どころ紹介
令和8年1月頃 募集開始	
	植物管理ボランティア（約2,000人） 会場内の花壇の手入れ・除草等のサポート
	運営ボランティア（約10,000人） 会場内外での来場者案内など

令和8年3月頃 募集開始（約1,000人）	
	ツアーガイド 横浜市民活動フィールドの見どころ紹介
	フィールドづくり・プログラム運営補助 環境にやさしい植物の手入れや生き物の住みかをつくるワークショップの運営補助など

項目

- 1 機運醸成等の取組について
- 2 入場券価格等について
- 3 交通円滑化の取組について

2(1) 入場券価格の設定

12月4日に開催されたGREEN×EXPO協会の理事会において、入場券価格の案が決定され、翌5日に、関係閣僚会議において了承されました。

【入場券価格】(GREEN×EXPO協会 理事会資料をもとに作成)

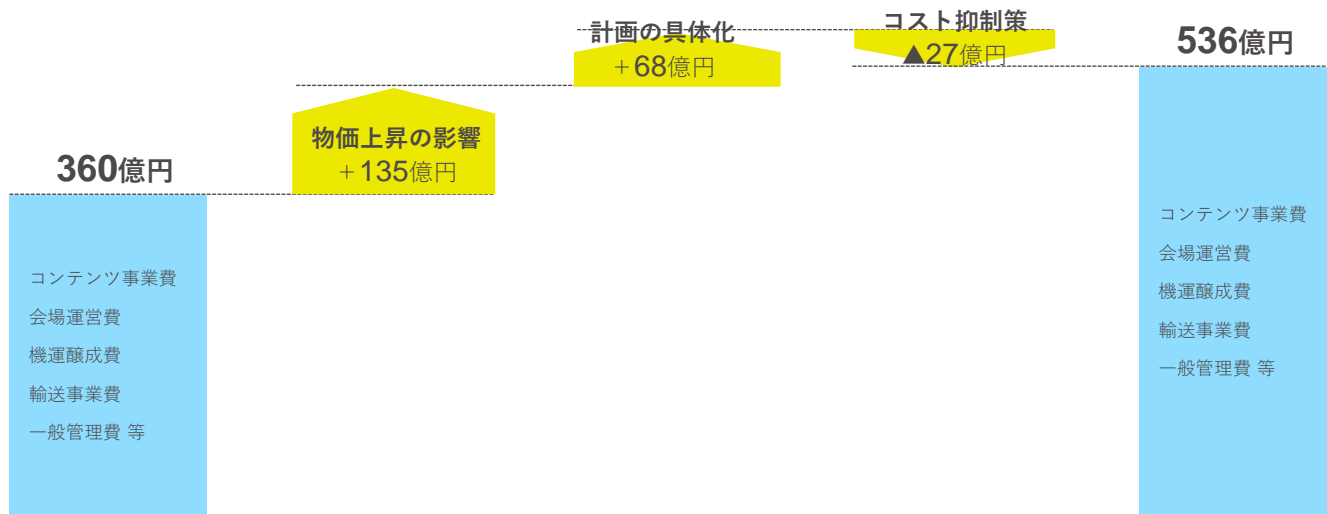
券種		大人 (満18歳以上)	中人 (満12～17歳)	小人 (満4～11歳)	販売期間
1日券 (通常価格)	会期中いつでも1回入場可	5,500	3,300	1,500	2027年3月 ～2027年9月
1日券 (早割価格)	会期中いつでも1回入場可	4,900	3,000	1,400	2026年3月～ 2027年3月
夜間券	会期中いつでも17時以降に 1回入場可	3,500	1,900	900	2027年3月 ～2027年9月
通期パス	会期中いつでも何度も入場 可	28,000	16,000	6,500	2026年3月～ 2027年9月
夏パス	夏の決まった期間(7/1～ 8/31)に何度も入場可	12,000	7,000	3,000	2026年3月～ 2027年8月

2(2) 運営費の見通し

12月4日に開催されたGREEN×EXPO協会の理事会において、入場券価格の前提となる運営費が536億円となる見通しであることが報告されました。

【運営費の見通し】（GREEN×EXPO協会 理事会資料をもとに作成）

物価上昇の影響や、計画の具体化、コスト抑制策を反映し、**536億円**（従前の1.49倍 / +176億円増加）となる見通し



※各項目で単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある
※図形の大きさはイメージで、大きさと金額は一致しない

項目

- 1 機運醸成等の取組について
- 2 入場券価格等について
- 3 交通円滑化の取組について

3(1) 交通需要マネジメント（TDM）の取組

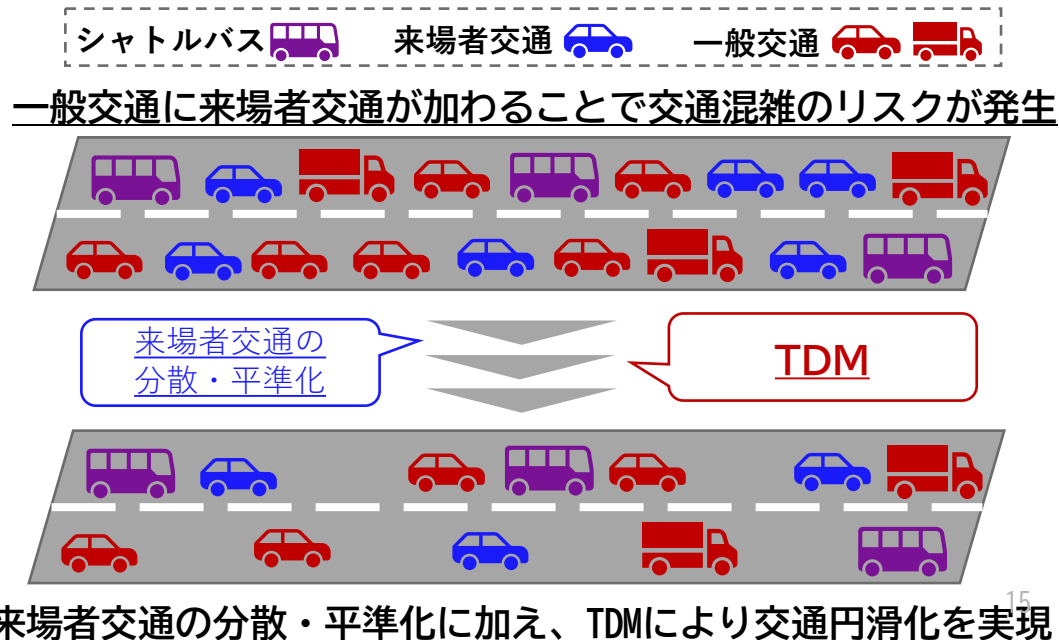
来場者の利便性と地域の生活環境の双方に配慮した輸送アクセスを実現するため、現在進めている交通容量の拡大や来場者の分散・平準化の取組に加え、交通混雑のリスクをさらに低減するため、「交通需要マネジメント（TDM）」の取組に着手します。

【交通円滑化の取組の全体像】

対象	取組概要	取組主体
交通全般	・道路整備による交通容量の拡大	横浜市等
来場者交通	・駐車場の予約制の導入 ・道路混雑状況の情報発信による分散化	GREEN×EX PO協会
一般交通	・人・モノの移動について、ピークを避けるなどの時間調整や、ルート・手段の変更等を促し交通需要を調整（TDM）	横浜市 神奈川県 GREEN×EX PO協会

今回着手する取組

【ピーク時における交通円滑化のイメージ】



3(2) 交通円滑化推進会議

TDMの取組を開始するにあたり、自治体や経済界の関係者が一体となって検討・調整し、広くご協力を呼びかけていくことを目的に、「GREEN×EXPO 2027 交通円滑化推進会議」を設置します。

第1回会議

- 日 時 : 令和7年12月23日 (火) 11時～
- 場 所 : 横浜市庁舎
- 参加機関 : 横浜市、神奈川県、GREEN×EXPO協会
横浜商工会議所、神奈川県中小企業団体中央会 等

検討する取組 (例)

- 交通集中の回避に向けた会場周辺の迂回や時間調整
- 移動量の抑制に寄与するICTを活用した働き方の促進
- 公共交通機関の利用の促進 等